

日吉

HIYOSHI CAMPUS

●東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車(徒歩1分)

福澤諭吉像

日吉の福澤先生胸像は、塾生の待ち合わせスポットの一つ。福澤先生の生誕150年を記念して1985年に建てられたものです。この胸像の台座部分に腰掛けたり足を掛けたりすると留年するという噂もありますが、真実は如何に。



⑤第6校舎地階グリーンズテラスとその周辺

“スペイン広場”と呼ばれる円形の階段を降りると約160席を有する食堂があり、カレー、丼物などを販売しています。



⑦塾生会館(課外活動棟)

塾生の課外活動のための施設で、館内には60余りの学生団体部室、地階に音楽練習室、演劇・舞踊関係のための練習室、さらに印刷室、暗室などが設けられています。1階のトレーニングルームとシャワー室は、1回200円で利用できます。



⑩生協購買部

大学生生活の必需品が一通り揃う、便利な日吉店。1階には文具、書籍、食品など各種コンビニ商品のほか、慶應オリジナルグッズも豊富です。2階は教科書センター、3階は自動車教習所の紹介や旅行関係、各種スクール、検定などを扱っています。最大の魅力は、市価より安く購入・利用できることです。

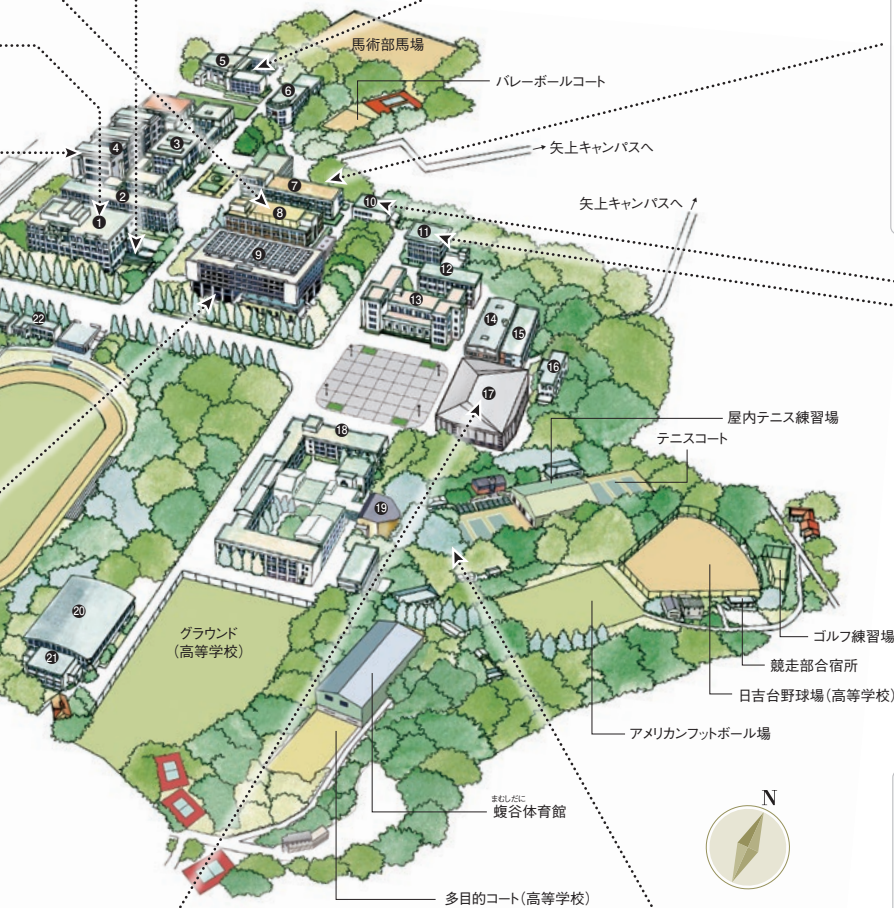


⑪藤山記念館

カフェ PRONTO (1階/132席)、劇場 (2階/123席)、学生スペースで構成されています。

小泉信三記念碑

庭球部コート西側斜面にあるこの碑は、義塾の庭球部を“庭球王国”へと導いた小泉信三元塾長を記念して1967年に建てられました。刻まれているのは、小泉博士の名言「練習ハ不可能ヲ可能ニス」です。



⑬記念館

日吉キャンパスのシンボルとなる建物です。地上4階・地下2階建て、最大収容人数は約10,000人の規模を誇ります。入学式・卒業式などの各種イベントのみならず、体育の授業、そのほか課外活動で利用できます。

⑧ 食堂棟

食堂棟 1階には生協食堂(屋内624席・テラス席108席)があります。
2階にはグリーン食堂(グリーンズマルシェ:531席)、専門店のさぼてんExpress(30席)、焼きたてパンなどの喫茶売店があります。
大学、学生、食堂業者で施設・献立・衛生面などを話し合い、安くて豊富なメニューを提供しています。
また、3階には公認学生団体のための集会室などが設けられています。



① 日吉図書館

“船”をモチーフとした日吉図書館は、学習・教育・研究活動を支援するための多様な資料や環境を提供するだけでなく、図書館や情報を活用する能力を身につけてもらえるよう情報リテラシー教育にも力を注いでいます。

④ 第4校舎独立館

1階には塾生の学生生活(授業・課外活動)を支援する学生部があります。



② 協生館

経営管理研究科、システムデザイン・マネジメント研究科、メディアデザイン研究科の3大学院の施設、体育の授業等が行われる体育施設、生成AIの利活用の拠点AICラウンジのほか、藤原洋記念ホール、保育支援施設、クリニック、コンビニ、カフェなど、大学内外の方が利用できる施設が整備されています。



② 保健管理センター(日吉診療所)

塾生の健康管理、病気の予防のために定期健康診断や健康相談を行っています。ケガや病気をした場合などには併設の診療所が利用できます。

●受付時間 8:45~11:30 13:00~16:15
(土曜日は休診)

※学生証を持参してください。他のキャンパスにも分室、診療所があります。これからの大学生活で、ぜひ有効に活用してください。



⑨ 来往舎

地上7階建ての列柱と大きなガラスが特徴の建物。エントランスから入ると開放的な吹き抜け空間で、ここは各種イベント(コンサート、演劇など)にも利用されています。1階から3階までは会議室や共同研究室などを含む複数のタイプの研究スペースからなり、4階から7階には約200室の研究個室があります。



陸上競技場

広々とした斜面の芝生や観覧席で日光浴をしたり、弁当を広げたりする学生も多く見られます。



- ① 日吉図書館
4~1F=日吉メディアセンター(図書館)
B1F=日吉キャンパス事務センター(運営サービス担当、施設環境担当)
- ② 第4校舎A棟(J411~J447)
- ③ 第4校舎B棟(J11~J39、ゼミ3、ゼミ4)
- ④ 第4校舎独立館(DB105~DB203、D101~D413)
1F=日吉学生部(学事担当、学生生活担当、国際担当、学生相談室)
B1F=協生環境推進室(障害学生支援室)
- ⑤ 第6校舎(J611~J642、ゼミ1、ゼミ2)
2F=教員室(第2)
B1F=グリーンズテラス
- ⑥ 第3校舎(301~336)
2F=外国語教育研究センター
- ⑦ 聴生会館(課外活動棟)
学生団体部室、トレーニングルーム
- ⑧ 食堂棟
学生食堂、学生団体スペース
- ⑨ 来往舎
1F=研究室、日吉学術研究支援課、教養研究センター、自然科学研究教育センター
- ⑩ 購買施設棟(生協購買部)
- ⑪ 藤山記念館(カフェ、学生スペース)
- ⑫ 第7校舎(701~704)
3~1F=理工学部基礎教室
B1F=日吉情報センター、パソコン室
- ⑬ 第2校舎(212~244)
3F=生物学教室
2F=物理学教室
1F=化学教室
- ⑭ 体育館(柔、剣道場)
- ⑮ スポーツ棟(体育研究所・卓球場)
- ⑯ 第8校舎(811、812、831)
4F=心理学研究室
3F=美術研究室
1F=音楽学研究室
- ⑰ 記念館
- ⑱ 第1校舎(高等学校)
- ⑲ 日吉協育棟(高等学校)
- ⑳ 日吉会堂(高等学校体育館)
- ㉑ 柔道場(高等学校)
- ㉒ スポーツ医学研究センター
- ㉓ 保健管理センター(日吉診療所)
- ㉔ 協生館
4F=協生図書館室
2F=日吉学生部(大学院担当)、日吉学術研究支援課、AICラウンジ
B1F=大学体育施設(プール、トレーニングルーム、エクササイズスタジオ)

※()内の英数字は教室番号です。

湘南藤沢

SHONANFUJISAWA CAMPUS

- 小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーライン 湘南台駅下車(西口よりバス「慶応大学行」約15分)
- JR東海道線 辻堂駅下車(北口よりバス「慶応大学行」約25分)

福澤諭吉像

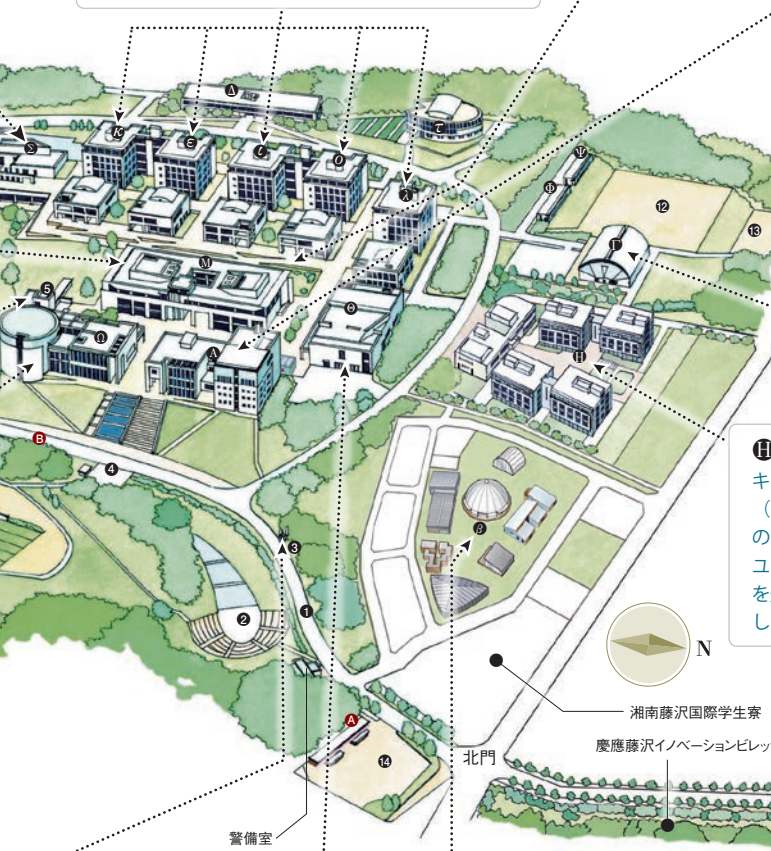
慶應義塾の歴史と伝統を守りつつ、未来を先導するSFC。福澤先生は、中庭から静かに見守っています。



研究・講義室棟

- ④ カッパ館
- ⑤ エプシロン館
- ⑦ イオタ館
- ⑧ オミクロン館
- ⑨ ラムダ館

K・E・I・Oの4棟は“KEIO(慶應)”の順に並んでいます。研究棟の2階から5階までは主に教員の研究室として使われています。



④ アルファ館(本館)

タロー坂から上がってきてすぐ右手に見えるのが、A館。1階にある事務室では各種事務手続きや証明書の発行、履修・学生生活・奨学金・就職の相談、留学生のサポートに応じています。

●心身ウェルネスセンター

A館2階には、保健管理センター(湘南藤沢診療所)と学生相談部門があります。医師、看護職員、カウンセラーが病気やケガ、いろいろな悩みの相談に対応していますので気軽に利用してください。

⑪ 体育館

1階にはウェイトトレーニングを主体とした各トレーニング場のほか、柔道場、剣道場などがあります。2階には、アリーナ(球技などが可能)とフィットネスルームがあります。



⑫ イータヴィレッジ

キャンパス内に位置し、ハウスと呼ばれる4つの居住棟(パブリカ、ターメリック、ローズマリー、バジル)と1つの共用棟(ソルト)によって構成される国際学生寮。5人ユニットを中心とし、多様な背景を持つ仲間との共同生活を通じて、「暮らしながら学ぶ、学びながら暮らす」を実践します。共用棟の食堂は寮生以外もランチ利用が可能です。

⑮ 看護医療学部校舎

看護医療学部の1・2・4年生が学んでいます。新しい時代にふさわしい看護医療の専門家を育成するため、校舎内に看護実習室、在宅看護実習棟など充実した実習設備を備え、コンピュータネットワーク環境も整備しています。健康マネジメント研究科の一部の研究・教育もここでされています。



⑥ シータ館(大講義室棟)

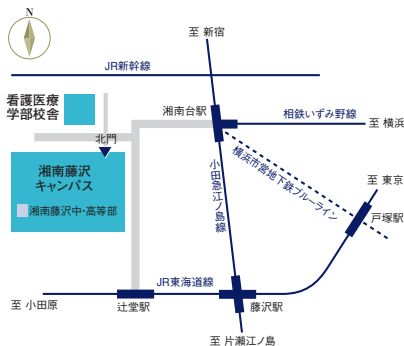
SFCで最大の講義室です。授業のほか、講演会や新入生を対象としたキックオフ・レクチャーなどが行われます。

●キックオフ・レクチャー
視野を広げ、学問に取り組むことの重要性を学び、社会の変化を正確に捉える目を養うことを目的とした講演です。

③ ベータヴィレッジ

学生や教員、研究者が寝食を共にしながら、授業や研究に打ち込むための滞在型教育研究施設です。海外からの留学生や研究者、多様な分野の教員や学生が、合宿生活を送りながら交流、議論し、地球規模の課題に取り組みます。





③ シグマ館(厚生棟)

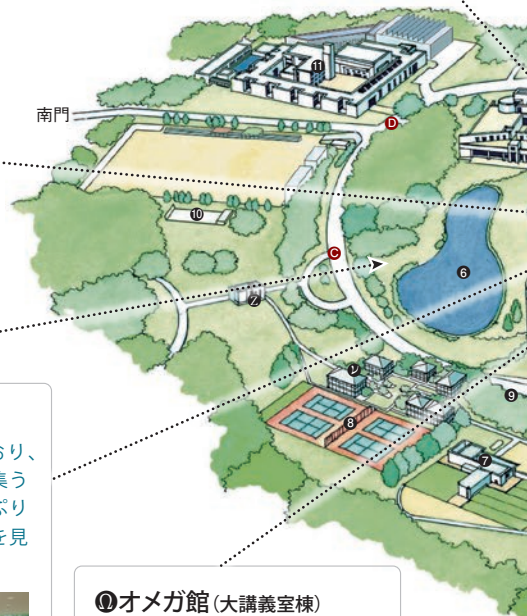
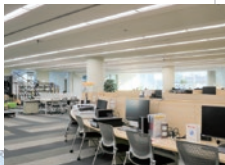
1階には書籍、PC用品、文具、その他の雑貨など、大学生活に必要なものが一通り揃う「生協購買部」、カフェテリア「レディバード」と、教職員向け食堂の「タブリエ」が営業しています。



地下1階には、さまざまなメニューを取り揃えている「生協食堂」や早朝から夜まで利用可能なコンビニエンスストアの「ローソン」、個人でくつろいだり、グループで議論したり、多様なスペースを提供する「鴨池ラウンジ」があります。

④ メディアセンター(図書館)

キャンパスの中心に位置し、学生・教員の創造的活動を支援しています。図書・雑誌・DVD・電子ブック・電子ジャーナルなどの資料だけでなく、映像・音響などの編集機器やスタジオ、さらに3Dプリンタやレーザーカッターなどを使ってものづくりができる“ファブスペース”も設け、授業やさまざまなコンテンツ制作に活用できる環境を提供しています。AV機器・データベースの利用やレポート作成について相談できる学生コンサルタントたちも、充実した学生生活が送れるよう手助けします。



旅人かへらずの碑

元文学部教授で詩人の西脇順三郎の詩碑。詩集『旅人かへらず』の冒頭の一節が強化ガラスに刻まれています。ここから鴨池越しに見るキャンパスもなかなか趣のあるものです。



⑤ 学生ラウンジ

「サブウェイ」が入店しており、朝から夜まで多くの学生が集う憩いの空間です。野菜たっぷりのサンドイッチ片手に鴨池を見渡してみてもいいいかがですか？



⑥ オメガ館(大講義室棟)

比較的人数の多い授業が行われます。



③ ステンレスの樹

SFCのシンボルモニュメント。全面鏡面仕上げで、高さは4.6メートル。本誌の表紙を四半世紀描き続け、2000年に逝去された洋画家・清川泰次君(1944年経済学部卒)の作品です。SFCの設立に際し、「青年が何か希望に向かって叫んでいるような」立体彫刻に仕上げられました。



- ① アルファ館(本館)
2F=心身ウェルネスセンター
1F=事務室
- ② オメガ館(大講義室棟)
- ③ ミュー館(湘南藤沢メディアセンター、湘南藤沢情報センター、横文彦ルーム)
- ④ カップ館(研究・講義室棟)
- ⑤ エプシロン館(研究・講義室棟)
- ⑥ イオタ館(研究・講義室棟)
- ⑦ オミクロン館(研究・講義室棟)
- ⑧ ラムダ館(研究・講義室棟)
- ⑨ シータ館(大講義室棟)
- ⑩ デルタ館(研究棟)
- ⑪ タウ館(大学院棟)
- ⑫ サイ館(クラブハウス棟)
- ⑬ ファイ館(クラブハウス棟)
- ⑭ ガンマ館(体育館)
- ⑮ シグマ館(厚生棟)
1F=ファカルティクラブ(タブリエ)、カフェテリア(レディバード)、生協購買部
B1F=生協食堂、鴨池ラウンジ、コンビニエンスストア
- ⑯ ニュー棟(研究棟)
- ⑰ セータ館(研究棟)
- ⑱ ベータヴィレッジ(β1~4、βドーム、βパビリオン、βスタジオ、DFF-W)
- ⑲ イータヴィレッジ(ソルト・ハウス [学生食堂 ※昼食のみ]、パブリカ・ハウス、ターメリック・ハウス、ローズマリー・ハウス、バジル・ハウス)
- ⑳ タロー坂
- ㉑ テアトロン
- ㉒ ステンレスの樹
- ㉓ 三田会社の杜の碑
- ㉔ 学生ラウンジ(サブウェイ、鴨池テラス)
- ㉕ ガリバー池(通称:鴨池)
- ㉖ セミナーゲストハウス
- ㉗ テニスコート
- ㉘ ミネルバの翼
- ㉙ 湘越弓道場(中・高等部)
- ㉚ 湘南藤沢中・高等部
- ㉛ 大学グラウンド
- ㉜ 多目的グラウンド
- ㉝ バスロータリー
- ㉞ 看護医療学部校舎
バス停留所
▲ 慶応大学
● 慶応大学本館前
● 中高降車場
● 慶応中高等部前

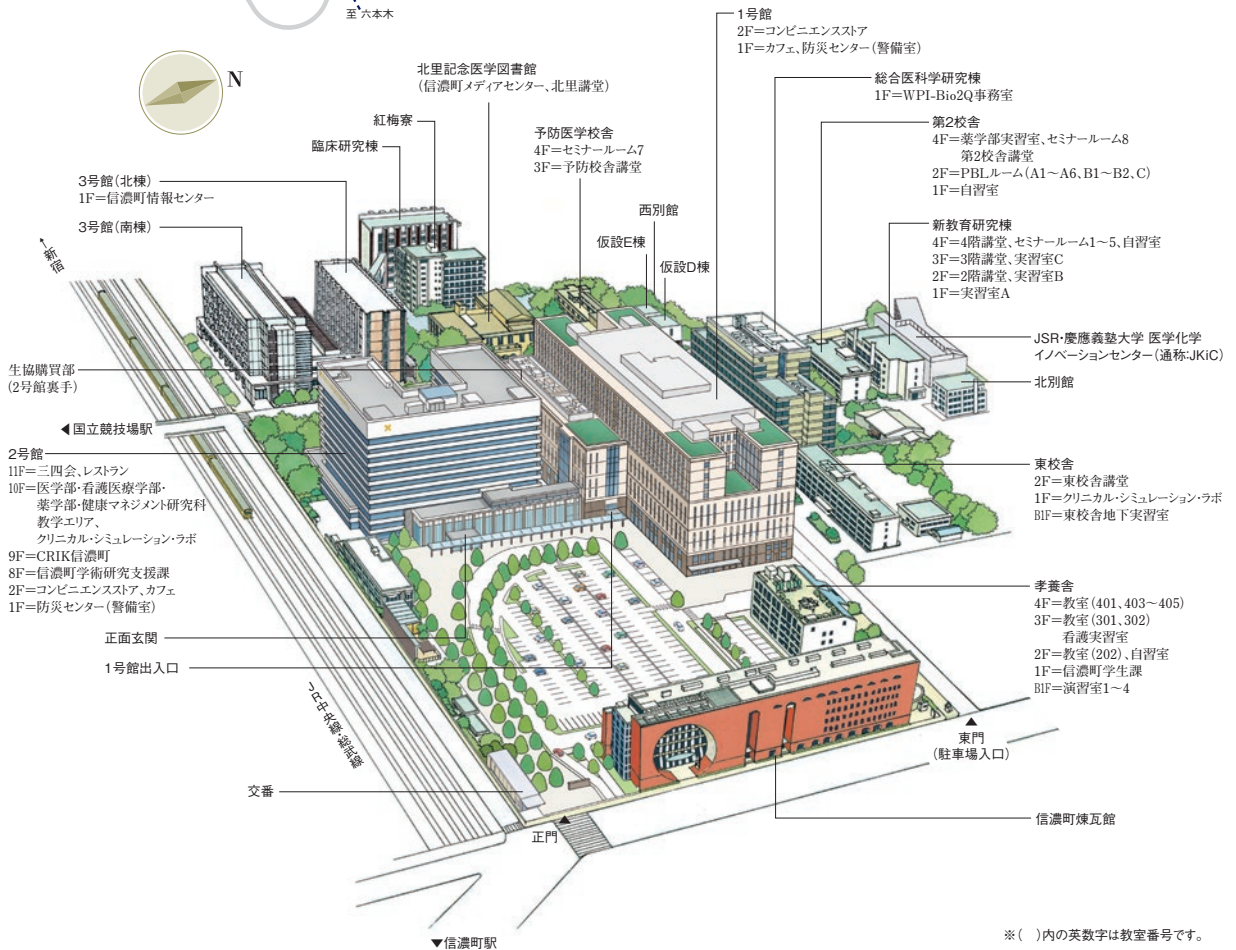
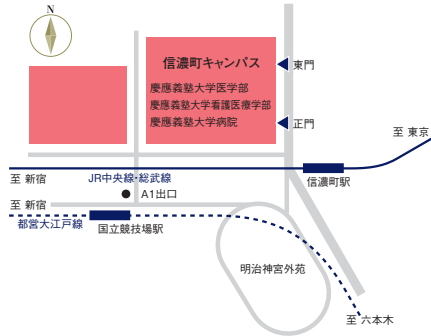
大学病院と一体化した信濃町キャンパスでは、医学部の2年生以上と看護医療学部3年生が学んでおり、薬学部の一部の学生が病院実習を行っているほか大学院医学研究科および健康マネジメント研究科の授業も行われています。北里記念医学図書館や各校舎が病院を取り巻くように建てられており、早い段階から医療現場を体験し、実際に患者さんと接しながら学ぶことに重点が置かれています。キャンパスの南には緑豊かな神宮外苑の杜が広がっています。

Campus Life

信濃町

SHINANOMACHI CAMPUS

- JR総武線 信濃町駅下車(徒歩1分)
- 都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅下車(徒歩5分)



※()内の英数字は教室番号です。

日吉キャンパスから谷ひとつ隔てた丘の上にそびえるのは「創想館」。新宿の高層ビル群や富士山、横浜ベイブリッジも一望でき、緑豊かな自然に恵まれた立地が矢上キャンパスの特徴です。ここでは理工学部の3・4年生と大学院生が学び、実験と研究のキャンパスとして、最新の理工学教育・研究を担う多様な施設を擁し、日吉キャンパスとはまた違った雰囲気を感じ出しています。

Campus Life

矢上

YAGAMI CAMPUS

- 東急東横線・目黒線・新横浜線、横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車(徒歩15分/約1km)
- JR横須賀線 新川崎駅下車(タクシー約10分/約2km)

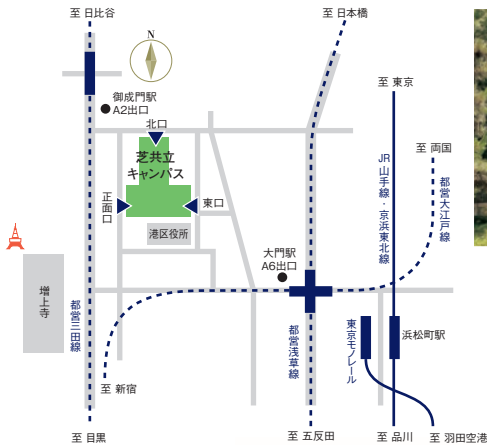


芝共立キャンパスでは、薬学部の2年生以上と大学院薬学研究科の学生が学んでいます。また、薬学部の1年生も一部の科目をここで履修します。東京タワーを間近に見ることができる都心のキャンパスですが、周辺には増上寺や芝公園があり、緑の多い場所に位置しています。1930年の共立薬科大学創立以来、1万人以上もの薬剤師、薬学研究者を輩出したこのキャンパスでは、日々、研究室で実験に没頭する塾生の姿が見受けられます。

Campus Life

芝共立

SHIBA-KYORITSU CAMPUS



- JR山手線・京浜東北線 浜松町駅下車 (徒歩10分)
- 都営地下鉄三田線 御成門駅下車 (徒歩2分)
- 都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅下車 (徒歩6分)

2号館

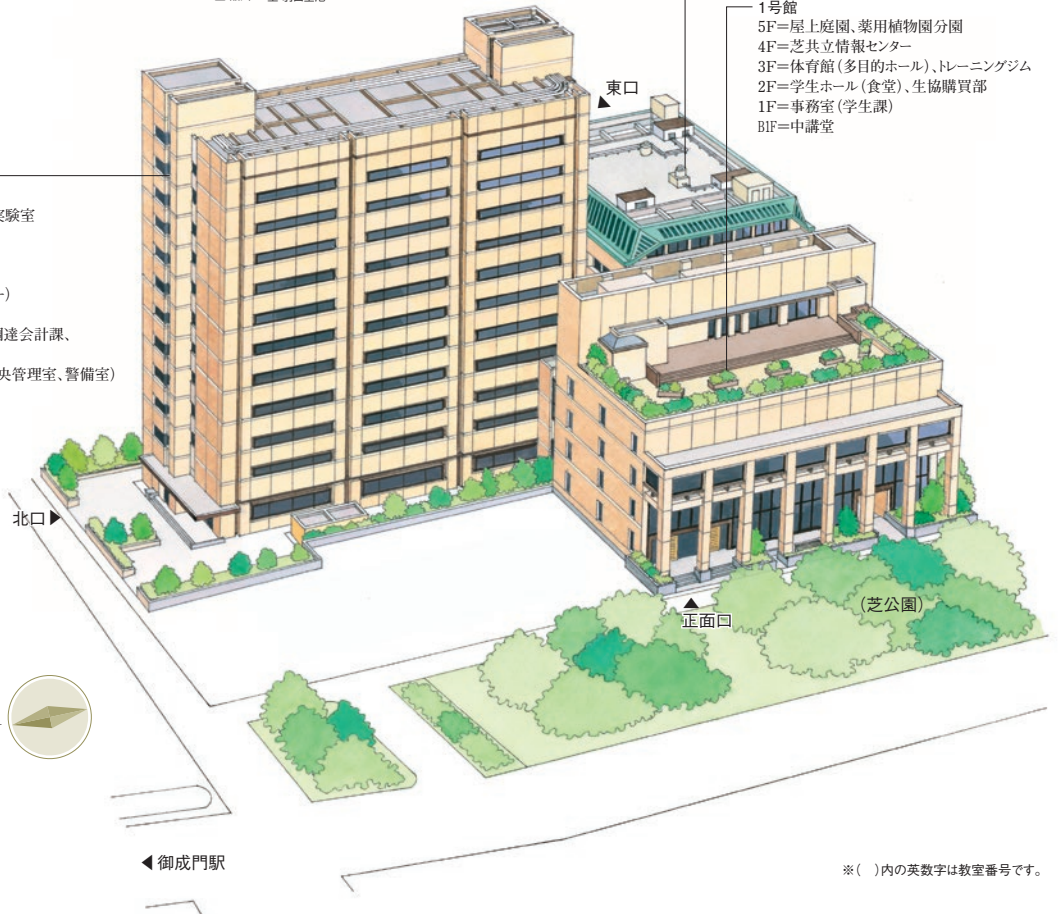
- 4F=大講堂、会議室、創業研究センター
- 3F=講義室 (351, 355)、実習室 (353, 354)
- 2F=講義室 (251, 255)、実習室 (253, 254)
- 1F=講義室 (151, 152, 155, 156)、実習室 (153, 154)
- 保健管理センター、学生相談室
- B1F=講義室 (B55)、実習室 (B53, B54)
- 医療薬学実習室
- B2F=動物飼育室

1号館

- 5F=屋上庭園、薬用植物園分園
- 4F=芝共立情報センター
- 3F=体育館 (多目的ホール)、トレーニングジム
- 2F=学生ホール (食堂)、生協購買部
- 1F=事務室 (学生課)
- B1F=中講堂

3号館

- 11F=会議室、セミナー室
- 10~2F=教員研究室、実験室
- 10F=RI施設
- 4F=PC室
- 3F=芝共立薬学図書館 (薬学メディアセンター)
- 2F=事務室 (総務課、管財課、調達会計課、学術研究支援課)
- 1F=附属薬局、受付 (中央管理室、警備室)



※ ()内の英数字は教室番号です。